



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信 週刊
 2012年1月20日号 No.226

みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



「儀軌」= ホームページより

日本共産党文京地区「新春のつどい」で笠井あきら議員があいさつ
“魂を込めた卵は、岩をも砕く”朝鮮王朝儀軌
返還の経緯で、日本共産党の役割が鮮明に

17日夜、区民センターで開催した「新春のつどい」には、寒い中、多くのみなさんにご参加いただき、ありがとうございました。桂藤兵衛師匠の落語に心温まり、笠井あきら衆院議員の政局の報告とともに、「朝鮮王朝儀軌」返還の話に、参加者も聞き入りました。

「儀軌」は、朝鮮王朝の国家行事を文章と絵で記録した文化財で、1922年に朝鮮総督府が「寄贈」して以来、日本の宮内庁で保管されてきました。韓国の民間団体「朝鮮王室儀軌還収委員会」が返還運動にとりくんできた際に、当時の参院議員・緒方靖夫さんや笠井議員が本国に戻すべきだと国会でも質問。その努力粘り強いが実

民主党幹部 **「党葬」はまだ経験なし 党の葬儀のほうが先、?**

「新春のつどい」での笠井議員のこぼれ話。衆院予算委員会理事会の開会前の雑談。自民：「先日党葬があった。民主党は党葬あるの？」民主理事：「まだないです」。委員長(民主)：「党葬より『党の葬儀』が先かも...こんな会話がされているそうです。民主党が“崖っぷちに立っている”証明です。

り、「韓国併合」100年にあたる昨年、「儀軌」など朝鮮半島由来の図書1205冊の返還が実現しました。実に89年ぶりです。年末に行われた返還を祝う式典は韓国文化財庁が主催。韓国政府の招待を受け、日本からは政治家では笠井さんのみが功績をかわれての出席でした。

共産党と聞くと、「頭に角が生えている?」などと言われる韓国でも、本当の姿と党の立場が理解されれば、信頼は勝ち取られ、親交も深まる貴重な経験だと感じました。



式典での笠井議員(左3人目)

年頭にあたって 出足早く 区長申し入れ

11日、放射能対策、「行革」と高さ制限の見直し、国保、介護保険料などの値上げストップ、子育て・教育問題など緊急に申し入れました。



まんだち日誌

- 12日 朝 後楽園駅で宣伝。この冬一番の冷え込みです。手がかじかみやべる口元がまわらなくなりました。しかし、ニュースが一時間で100枚配れました。ありがとうございました。
- 午後、町会連合会の新年会。
- 13日 長島共産党文京地区委員長と新年のあいさつと「つどい」のご案内にまわりました。営業、再開発、保育園などの問題が次々に寄せられます。
- 夜、区職員組合の旗ひらき。
- 14日 午前、党中央委員会で「税と社会保障の一体改革」の学習会。午後、生活相談と宣伝活動。夜、地元町会の新年会に出席。
- 15日 田舎の叔母の葬儀に浜松へ。母親のようにお世話になりました。